

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年8月23日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900476		
法人名	有限会社 久保田電気		
事業所名	グループホーム マロン館	ユニット名	1号館
所在地	〒300-0121 茨城県かすみがうら市宍倉6182-46		
自己評価作成日	平成25年4月17日	評価結果 市町村受理日	平成25年8月19日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0873900476-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0873900476-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年6月18日	評価確定日	平成25年8月7日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・季節に合わせた飾り付けをしている ・アニマルセラピー ・食材は旬の物を提供している
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>明るく穏やかな雰囲気の事業所で、管理者と職員は気軽に意見や要望を出し合うなど、良好な関係を築いている。</p> <p>利用者の身体機能をできるだけ低下させないようラジオ体操や散歩を日課に取り入れたり、歩行器使用の利用者でも自身で下膳ができるよう歩行器の上に板を取り付け、運び易くなる工夫をしている。</p> <p>迷い込んだ近所の飼い猫を飼い主の承諾を得て事業所で飼うことになり、動物との触れ合いが癒しの効果を生んでいる。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	言葉を短くし、おぼえやすくしている。目に留まる所にはりだしている。	管理者と職員で話し合い、「愛・自由・楽しく」との誰でもわかり易い理念を作成し、玄関や食堂、事務室に掲示しているが、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成するまでには至っていない。	地域密着型サービスの意義を全職員で話し合い、地域社会や利用者のニーズに即した理念を作成することを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小学校の行事・イベントに参加している。	利用者は日課としている散歩時に地域の人々と挨拶を交わしたり、散歩の途中に近隣の通所介護事業所に立ち寄り、お茶を頂いたりしている。 利用者は職員と一緒に地域の小学校の運動会の玉手箱競技に参加したり、地元の収穫祭を見に行き、地域の人々と交流している。 地域の人々が気軽に立ち寄れる事業所づくりに努めており、事業所のバーベキュー大会では区長の協力を得てチラシを回覧してもらい、地域の人々を招待して交流を深めているほか、地域の人々からは野菜のお裾分けがあるなど、良好な関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近くのデイサービスや直売所に出掛け、理解して頂けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事の報告や地域の清掃、近隣の方のお年寄りの方の対応を話し合っている。	運営推進会議は2ヶ月に1回家族等の代表や市職員、民生委員、区長、元区長、職員で開催している。 会議は行事報告が主で、事業所が抱えている課題について具体的に話し合ったり、意見交換をするまでには至っていない。	運営推進会議は事業所からの報告だけに留まらないよう事前に議題を決めるなどで委員から積極的な意見や要望を引き出し、双方向的な会議になるよう取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員の訪問をうけ、利用者様の状況を知らせている。	市担当者が運営推進会議に参加しているほか、事業所で解決できない問題や対応が困難な事例が生じた場合は市に出向いて相談するなど、協力関係を築いている。 毎月介護相談員が来訪したり、6ヶ月に1回生活保護担当者が来訪したりしており、職員は利用者の暮らしぶりや状況を具体的に伝え、連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員間で話し合い、理解してもらうようにしている。	普段玄関は施錠していないが、利用者が一人で外出しそうな場合は施錠している。 車いすから転倒の危険性がある利用者にY字ベルトを使用する場合は、電話で家族等の同意を得ているが、同意書や経過観察記録を作成したり、身体拘束をしなくて済むよう定期的に話し合うまでには至っていない。	全職員が身体拘束の内容とその弊害を正しく理解できるよう、身体拘束排除に関する勉強会を開催することを期待する。 やむを得ず身体拘束をする場合の同意書や経過観察記録を整備するとともに、身体拘束をしない方法を検討することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	あってはならない。注意を呼びかけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加するようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時説明し、理解して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今まで生活していた様子を聞きだし、一緒に良いケアをしていきたい。	管理者は家族等が意見や要望を出せるよう面会時や家族参加で行う敬老会の時に話を聴くよう心がけているが、積極的に意見を汲みあげるまでには至っていない。 ユニット毎の玄関に意見箱を設置しているが、投函の実績はない。	無記名の家族アンケートを実施し、家族等の意見や要望を汲みあげるよう取り組むことを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見、提案を聞いて、話し合っている。	管理者はミーティング時に職員の話を知るとともに、職務の中でも職員から意見等を聞くように努めている。 管理者は職員の休暇の希望を取り入れながら勤務表を作成したり、職員1名で対応していた要介護度の高い利用者の入浴を2名対応に変更するなど、職員の意見を取り入れて働く意欲やサービスの質の向上に努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に向けて、やりがいが増すよう働きかけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に合った研修を受けるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近くのデイサービス・土浦館と交流している。行事はお互いに誘っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人からの要望にこたえられるよう聴く努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族から相談があれば、きく機会を持っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の方がみえて、相談にのる際、他のサービスも利用出来る事を伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の情報を知り、会話を通じて関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	情報を聞いたり、施設での様子を伝え、関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで行っていた美容室に行ったりしている方もいる。近所の方が面会に来たりする。	昔から利用している美容室に毎月行く利用者や、何十年も付き合いしている商店から化粧品を事業所に届けてもらって購入している利用者があり、職員は利用者の生活習慣を尊重しながら馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。 利用者が家族等に手紙や年賀状を出したい場合には職員が代筆したり、投函を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ソファ、テーブル、イスの位置を変えてみたり、座る席に気をつけるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	以前の入居者様の引き受け人が来てくださる事もある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションをとりながら、本人の希望にそうようにしている。	利用者は職員に直接要望や意向を伝えている。 意思表示が困難な利用者の場合はフェースシートや家族等から情報を収集するとともに、利用者の表情やしぐさなどから利用者の立場に立って検討し、利用者本位の支援に努めている。 職員が対応できない外出などの希望は、電話で家族等に伝え、家族等の協力が得られるよう支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴など家族の方に聞いて、情報を集めている。			
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の状態を観察しながら、お手伝いをお願いしている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の希望を取り入れて、本人らしく暮らしていける支援を、プランに反映するようにしている	2ヶ月に1回モニタリングを行うとともに、計画作成担当者はミーティングで職員から利用者の状況を聞き、家族等の意見を取り入れながら介護計画を作成している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケース記録をもとに、変化のある時は職員間で話し合い、見直ししている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診や買い物の付き添い、ドライブの実施。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の方やボランティアの方達と協力している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の要望があれば、話し合っ受診している。	事業所は協力医療機関を複数確保するとともに、利用者が希望する精神科や眼科などへの受診は職員が付き添い、結果を家族等に電話で報告している。 希望者には月2回訪問歯科診療が受けられるよう支援している。 週1回訪問看護事業所の看護師による健康チェックを支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回、看護師が来館し、健康管理や相談を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	できるだけ面会に行き、看護師から話を聞いたり、家族の方と連絡を取ったりしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の方と話し合い、方針をきいている。延命についての同意書ももらっている。	提携している訪問看護事業所の協力を得ながら看取りを行う方針となっているが、看取りに対応可能な医療機関や医師を確保しておらず、方針に応じた看取りの体制を整備するまでには至っていない。	看取りや24時間対応可能な医療機関を確保して重度化や終末期の対応方針を共有するとともに、重度化対応マニュアルなどを作成し、看取りに向けた体制を整備することが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入職してから救急法の講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	近くの公民館に避難できるようになっている。避難訓練を行っている。	消防署立会いのもと年2回総合訓練を実施しているほか、毎月事業所独自の避難訓練を実施しているが、夜間を想定した避難訓練を実施するまでには至っていない。 避難訓練の実施記録を作成しているが、課題の改善に向けて話し合いを行うまでには至っていない。 避難訓練に近隣住民の参加を得たり、災害時の協力体制を構築するまでには至っていない。 災害に備えて米やカップ麺、飲料水、ガスコンロ、毛布、懐中電灯を備蓄しているが、賞味期限や在庫数などを台帳に記載して管理するまでは至っていない。	夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、避難訓練で明らかになった課題を話し合い、次回の訓練に活かすことを期待する。 避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう運営推進会議などで働きかけ、災害時の協力体制を構築することを期待する。 備蓄品の台帳を作成し、賞味期限や在庫数などを管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー開示についての同意書をもっている。利用者様に合わせた言葉掛けや対応を心掛けている。	以前面会簿はノート形式だったが、現在は利用者毎に1枚綴で作成するよう改善している。 職員は利用者の尊厳を大切にして名字で呼びかけたり、話の内容や語調に注意をしたりして誇りやプライバシーを損ねない対応に努めている。 個人情報に関する書類は、事務室で一元的に管理している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションをとりながら、どうしたいかを聞き出している。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れにそって支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容室の方に来てもらったり、美容室に行く方もいる。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル拭き、おしぼり配りなど出来る範囲で手伝って頂いている。メニューは利用者様からリクエストをきき、決めている。	利用者はできる範囲で芋の皮むきやもやしひげ取り、テーブル拭き、下膳などを職員と一緒にやっている。 事業所で採れた茄子やピーマン、小松菜などの季節の野菜を食材に取り入れており、利用者の喜びや楽しみにつながっている。 嚥下障害がある利用者には食べ易いように刻んだりペースト状にするなど、個々の状態に応じて対応している。 誕生会や行事では、利用者の要望を聞いて特別食を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は個別に記録している。水分も表にして記録している方もいる。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声を掛け、歯磨きをしてもらったり、義歯を預かりポリドントにつけたり、ガーゼで拭き取ったりしている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	居室にポータブルトイレを置いたり、自力でトイレに行ける方は、声を掛けたりしている。	排泄チェック表を基に、タイミングを見計らってトイレ誘導をしているほか、意思表示ができない利用者には定期的に声かけ誘導し、トイレでの排泄を支援している。 数種類のパッドやおむつを用意しており、夜間は吸収力の高いものを使用するなど、利用者の体型や状況に応じて排泄の失敗を最小限に抑える取り組みを行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく動いてもらうよう散歩をしたり、用事を頼んで歩いてもらったり、野菜の献立を多くしたりしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の気分や状態に合わせて、入浴を支援している。	1日おきにユニットを変えて湯をはり、利用者が1日おきに入浴ができるよう支援しているが、希望に応じて毎日でも入浴ができる体制となっている。 気分転換に柚子湯を取り入れたり、利用者の状態に応じて清拭やシャワー浴で対応している。 入浴を拒む利用者には入浴の順番を変えたり、別の職員が声をかけるなどの対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で横になったり、リビングのイスでくつろげるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後、処方された薬の説明書をファイルにとじ、全員がわかるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月イベントを行い、楽しんでもらっている。タバコを吸っている方もいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気が良い日は散歩に行っている。買い物と一緒にいき、荷物をもってもらったり、お菓子を買ってきたりしている。	日常的な散歩や近隣にある農産物直売所への買い物のほか、2ヶ月に1回ドライブや買い物、外出に出かけられるよう支援している。 長時間外出が困難な利用者には、敷地内にあるベンチで外気浴を楽しめるよう支援するなど、室内に閉じこもらせないよう努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力もあり、自分で財布を持っている方もいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望、家族の要望を合わせて電話をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭に咲いてる花や、季節に合わせた人形等を飾って楽しんでもらっている。	利用者が自由にお茶を飲むことができるよう、食堂のリビングボードに電気ポットや茶葉セットを用意したり、沢山の本を備えたりして、居心地よい空間づくりに努めており、利用者は食堂のソファで読書をしたり、猫とふれ合ったりしている。 二つのユニットをつなぐ長い廊下は、雨の日には歩行訓練に活用している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や廊下にイスを置き、誰でも座れるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にベッドか畳を選んでもらい、自宅で使っていたなじみのある物を持参して頂いている。	職員は毎朝利用者と一緒に居室の清掃と換気を行い、衛生管理に努めている。居室には仏壇やテレビ、籐椅子、テーブルなどが置かれている。ベッドが苦手な利用者の場合は、フローリングに畳を敷くなどで柔軟に対応し、利用者が居心地よく生活ができるよう配慮している。曜日や季節がわかるよう居室の壁にカレンダーを掲示している。孫や子ども、行事の写真を飾るなど、自由な居室づくりを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、お風呂の場所がわかるように、張り紙をしている。居室に立ち上がりができるよう、棒を取り付けている方もいる。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームマロン館

作成日 平成25年8月18日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	夜間を想定した避難訓練を行っていない 備蓄品の管理ができていない	夜間を想定した避難訓練を行う。	夜間を想定した避難訓練を行う。 備蓄品のリストを作成する	6ヶ月
2	12	重度化や終末期に向けた体制が整っていない	重度化・終末期に向けた体制を整える。	24時間対応可能な医療機関の確保。 マニュアルの作成	6ヶ月
3	5	全職員が身体拘束について理解できる機会を設けていない	身体拘束について理解できる機会を設ける	勉強会を開催する	1ヶ月
4	6	家族からの意見、要望を汲みあげるまでに至らない	家族からの意見、要望を汲みあげるよう取り組む	面会時、話をする。月1回の手紙にてお知らせをして意見を募る	1ヶ月
5	1	地域密着型を組み込んだ理念ではない	全職員で話し合い理念を作成する	ミーティング時に話し合う	1ヶ月
6	3	行事の報告が主で、具体的に話あったり意見交換までいたらない	話し合い、意見交換ができるようにする	事前に議題を決め提案する	3ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。